

第6回新法人準備委員会 議事録

【日時】2月4日（火）18～20時

【場所】駅前交流プラザよろーな

【出席者】 別紙

【決定事項】

※報告事項

1, 各提案資料について説明

① 組織体制

前回のやりとりから整理したものの決定。理事、評議員の推薦。

② 情報発信・交流

広報なよろの掲載内容の確認。3月5日のトークセッションについて素案の確認

③ 事業計画 なし

④ 財務 なし

⑤ 法務

定款修正・決定

⑥ 人事計画

地域おこし協力隊と地域おこし企業人の募集資料の決定

⑦ 将来設計 なし

<参考：業務一覧>

業務	業務内容	委員	事務局
組織体制	ガバナンス体制（理事会・監査役、内部統制・透明性を高める仕組み）に関すること 事務局・各種会議・会員に関すること ステークホルダー（利害関係者）との連携に関すること	栗原 筒井	明石 松澤
情報発信 ・交流	加盟団体の周知、市民周知、スポーツ団体 WS、3団体（カテゴリー別）の交流に関すること 広報活動に関すること	山崎	名和谷 黒井

事業計画	初年度事業計画・予算、収益に関すること 新規事業に関すること 新組織2年目以降に調整が必要な事業・予算の洗い出し・リスト化	今 遠藤	安澤 小田
財務	財産の取り扱い、資金調達等に関すること 財務計画に関すること	遠藤	事務局
法務	法人登記、各種内規に関すること	石橋	片井 菊池
人事計画	必要な人材の検討・採用、現職員対応に関すること	小笠原	安澤 片井 小田
将来設計	ミッション・ビジョン・バリュー、短・中・長期計画、ロードマップ、中長期計画に関すること	阿部	黒井 松澤

【発言録】

松澤：前回の会議の議事録からです。組織体制、定款、地域おこし協力隊について議論しました。組織体制については、任期については10年を越えない範囲にする、特例を設ける、などのアイデアもいただきました。定款については、風連からご指摘いただき、検討しました。地域おこし協力隊・企業人については、それぞれ確認しました。特に事務局長人材については経営感覚を持ち合わせた人材を採用しようということにし、また理事とするかどうかなどについては、雇用した後に、判断するということになりました。

遠藤：各団体の状況を教えてください。

小笠原：1月22日にNスポの会議を行い、説明と理事、評議員の推薦を行い、了承を得ました。

栗原：27日に今さん、事務局、3役とで決定事項について検討しました。理事、評議員の推薦を挙げます。

筒井：1月30日に風連の会議がありました。組織図の中の説明を行った。理事、事務局長

の話については、事務局長は専務理事だろうという話しがでていた。評議員と理事の選定を行った。

遠藤：定款についての説明をお願いします。

片井：(資料説明) 定款を修正しています。

(承認)

遠藤：広報についてお願いします。

山崎：広報には、広報なよろに掲載する内容をまとめました。確認と承認をお願いします。

(承認)

以下、各評議員、理事についての推薦については、本会議帯で推薦を受け承認しているが、正式には名寄スポーツ協会の理事会が承認することになるため、ここでは個人名を伏せる。

遠藤：統合スケジュールについて事務局からお願いします。

松澤：統合スケジュールについて。3月5日に市民向けについてワークショップのまとめと、新法人について説明するイベントを開催します。また、各競技団体などへの意向調査を加入団体にしていきます。④以降が会議周りスケジュールですが、それぞれの団体の総会スケジュールに合わせて設計しています。最終的に6月末の統合となると思っている。

遠藤：みなさんからご意見ををお願いします

小笠原：当初の予定より遅れていますが、おそらくこの通りでやるしかないのかと思います。現名寄スポーツ協会の事務局が大変かと思うのでよろしくをお願いします。

今：新しい組織に加入するという申し込みいただくのか、現在協会に入っている各団体と新しく入りたいという団体と、このあたりの申し込みはどのタイミングで行うのか？特に既存で入っている団体は改めて申し込みが必要なのかどうか。

松澤：新組織に対しては、さまざま変化もあるので、改めて出していただくのがいいのではないかと思います。スポーツ少年団、体育協会の機能も持ち合わせていますが、特に少

年団の関係はジュニアに関しては少年団登録ではないところも申し込みを初めて行くことになります。そのため、全体のことを理解してもらいつつ、改めて申し込んだらいいのではと思っています。

小笠原：改めての加盟の手続きはいらないのでは？現状の団体の退会などの手続きはどうなっていますか。

松澤：N スポに関しては任期があり、その都度加盟手続きをしているわけではなく、会費もない。スポーツ協会は退会のときだけ手続きをする。風連は理事会の中で加盟するかどうか確認する。

石橋：新法人といいつつ、改名だけだから特に登録などはいらないのでは？現在登録しているところはそのままでいいのでは？脱退の以降がある場合はそれを受け止めるということ。N スポや風連については連絡・登録が必要かもしれない。

今：少年団は名寄スポ協に入っているという認識はない。内容が定款も変わったりするし、加盟団体から新しい組織に改めて加盟するというステップが必要かもしれないとも思っている。

山崎：意思確認をすることについては、いまやることで大事なことかなと思う。流れは変わらないので、大丈夫かもしれないが、最初なので、手間はかかるが丁寧な確認をしていったほうがいいのではないかと思う。N スポ加盟団体の一覧をスタートのときに確認しておいたほうがいいのではないかと思う。

石橋：一番気になるのは、法人が改名をして、ハコを使わせてもらうという状態なのから改めて確認するというステップです。

今：ある程度の認識はしてもらえるのではと思うので、確認の意味でも連絡したほうがいいのかも。そのなかで、実は体協からでようと思っていた、という話しもでてくるかもしれない。各団体ごとに手続き、意向確認したもらったほうがいいのかと思う。正式にやるかどうかは議論が必要かもしれないが。

小笠原：現在、加盟団体は会費は発生しているんですね？加盟団体から会員に変更になるということですね。加盟団体がなくなって全部会員となる。現状の加盟団体などには、新法人の会員に引きつづきなってもらいますよね、となる。少年団は、先ほどのジュニア会員に入るかどうか、という確認になるのかと思う。一緒にやっていくためには会費などかかる

よ、別になる気がしました。

松澤：今後会員となります。区分もできています。新法人の少年団についてはジュニア会員として登録してもらって、その中には、少年団登録をする団体とそうでないジュニア団体が出てくることになると思う。

今：統合するにあたって、各団体は一旦解散をするのか？それとも持ち寄っていくことになるのか？

遠藤：法的なもの、継続性、いまは判断着きにくいと思う。今日は結論でないと思うので、一度持ち帰って検討したい。同好会や加盟団体、それ以外のものなどもあるので、整理してもらおうことにしましょうか。

松澤：意向調査の仕方についてはちょっとパターンをつくっていきます。

栗原：名寄スポーツ協会としては、名寄スポーツ協会の現在の理事者と名称・定款変更を行い、評議員は辞職するということになる。カタチを変えながら新たになっていくということになるのでは。解散、とはちょっと違うのでは？加盟団体を集めて説明すれば、会員といってもらえると思っているのだが？

遠藤：すみません、これは解散というカタチではないということはこちらで既に合意してますよね。

松澤：法的な手続きのラインと実質のラインとを分けて考えていたらいいと思っています。市民向けには3つが一緒になりますというメッセージのほうがいいと思う。ただ、法的には、現在の名寄スポ協の法人格を使うということになっているので、解散にはならない。

山崎：地域活性化企業人と協力隊についての見通しを教えてください。

松澤：予算の関係もあるので、どのタイミングで募集をかけていくのかということも考えていく。

山崎：そのあとの見通しについて教えてください。

石橋：なかなか見通しが付かない感じがあるが、現状、ジムなどで働いている方が魅力に感じられるんじゃないかとは思っている。みなさんのネットワークもぜひお借りしたいと

思っている。

遠藤：3月28日の会議以降6月まで開いているが、その間はどうか？当初の予定通り4月で終了させて、各総会をまつ感じになるか？

松澤：4月は名寄スポ協の監査などもあると思うのですぐに移行はしないのだが、準備委員会はどうかは現時点では決めていない。が、もう少しヤリトリも発生するとは思っています。

遠藤：では3/5のイベント情報についてお願いします。

黒井：(資料説明)

筒井：設立記念トークセッションで大丈夫か？

石橋：主催はどこか？

黒井：準備委員会がいいのではないかと思っている。

遠藤：費用についてはどうしたらいいか？Nスポの周りには経済団体から出してもらうという可能性もあるのではないか。

今：設立記念はおこがましいのでは？ワークショップの締めイベントにしたらいいいのでは？という名称がいいのかはわかりません。現時点では新法人を祝うような段階ではないのでは。6月末の統合となると早すぎて、時期的に難しいと思う。

山崎：「設立に向けたトークセッション」などにしたらいいいのではないか。会費にするところは、参加者が費用負担するというほうがいいと思っている。

遠藤：名称については変更、懇親会については参加者が負担するということでの実施がいいと思う。

渋谷：日頃同じ現場では会わない人と会った、ということを繰り返した。そこでせっかくできたつながりをこれっきりにするのはもったいないと思っている。そういう場で懇親会は大切だと思っている。横のつながりを実際につくっていくのがいいと思う。

今：名寄のスポーツの未来を語るということでいいのではないか。

黒井：内容については、再度修正して送ります。